

2012.9.1



理事通信

2012~2013 年度 No.3

理事主題 「創造 多様性を生かしてイノベーション」

Creative Innovation in Diversified Society.

副題 「“恵みを愛もて分かち合おう” “Share your blessings in love”

東日本区理事 駒田勝彦

秋の虫の声が聞かれる頃になりましたが、まだまだ暑さきびしい日々が続いております。

各クラブ納涼会で元気を付けて活躍されておられることと存じます。

8月1日から、Stavanger Norway で国際大会が行われました。大会参加者740名、東西日本から111名、開催国は181名でした。国際書記長西村隆夫さんからは、東日本の地震と津波災害の報告とY'Sの支援活動、各エリアからの支援の報告がありました。大会4日目に39th Asia Area Council Meeting が行われ各区の報告、会計報告、アジアから韓国が分かれたことによる会計の報告と資金運用について協議がされました。各国のユースによるプログラムは若者のパワーを感じました。彼らの絆が国際平和へつながる希望を思いました。全プログラム中大きな印象を受けたのが、大会3日目の夕方からの”Home dinner”です。参加者全員7~10名ぐらいのグループに分かれ各 Y'S Men の家庭に招待されたことです。夕食メニューは統一されて行われたこと、心のこもったおもてなしと、その国のご家庭を訪問することは普通できないことなので、素晴らしい企画であったと感激しました。また Norway Fjord の自然を満悦しました。

9月、10月は各部会が開催されます。部会に皆さん参加し交流と親睦を深めましょう。

<9月は「ユース」・「EMC/EM」月間>

今月は「ユース」/EMC/EMの強調月間です。

International Youth Convocation(IYC)

ノルウェー・スタヴァンゲルで行われた IYC に東日本区からは 7 人が参加しました。全員首都圏近郊の在住者ですが、例会もしくはその他の機会を設けて、是非彼らの話を積極的に聞きましょう。(ユース世代の感性を活動に取り込むことも大事です。)

Youth Volunteer Leaders Forum(YVLF)

今年は 25 回目という大きな区切りの年です。参加締め切りは終わりましたが、山中湖に來たり、参加リーダーの話の聞いたりして、ユース世代への理解を深めてください。

YVLF 見直しについて

YVLFについて、これからの YMCA に必要なユース世代の育成のためにフォーラムがどうあるべきなのか等を検討する小委員会を立ち上げます。参加希望の方は宮村智子(横浜つづき)までご連絡下さい。

Face book

Face book からの情報発信もしています。こちらご覧下さい。

<http://www.facebook.com/Ys.Japan.East.Youth>

ユース事業主任 宮村智子(横浜つづき)

EMC-EM 強調月間

9月 は EMC-EM が月間強調項目になっています。EMC[=Extension(クラブ拡張), Membership(会員増強)& Conservation(会員の維持・啓発)]は、ワイズメンズクラブにとって永遠の課題であるかも知れませんが、各クラブにおかれても、日頃から新クラブの設立や新入会員の獲得を目指して奮闘・努力しておられるものと思います。特に9~10月は各部において部会が開催され、クラブ拡張や会員増強の意識が盛り上がる時期であります。今期は東日本区の再生元年と言われております。不祥事件に揺れる東日本区ですが、今こそ私たちはワイズメン・メネットとしての誇りと確信をもって、クラブの例会・活動に参加し、知人・友人を積極的にワイズに勧誘したいと思います。駒田勝彦理事は、今期の EMC 事業目標の中でも特に、クラブの拡張=新クラブの設立を重視しておられます。各部・クラブのテリトリーにあって、YMCA・学窓・趣味・異業種交流等の関連において、ワイズ精神に基づいた親睦+奉仕の新クラブを誕生させることができなにかご検討下さい。EMC 事業委員会としましても、理事や区役員会の支援が得られるよう、最大限の努力をいたします。

会員増強事業主任 鈴木 茂 (横浜つづき)

<7・8月の新入会者>

☆7月1日勝又英博・杉山聡子(御殿場)松本法判(宇都宮)白井啓太郎・四之宮武征(下田)安田文子(札幌)永田玄道(富士宮)
☆7月14日中本晶子(松本)☆7月17日戸坂昇子(東京山手)☆7月19日藤川雅典(沖縄)堀江和広(東京江東)☆7月20日鷹箸 孝(宇都宮東)
☆7月23日山田光一・藤村哲二(熱海)
☆8月7日辰巳 徹(北見)
☆8月21日川津政義(横浜とつか)
入会おめでとうございます、ご活躍を期待します。

<ノルウェー・スタヴァンゲル国際大会報告>

8月2日(木)から5日(日)にかけて、日本および海外37か国のワイズメン、ワイズメネットおよび国際ユースコンボケーションに参加のユースが集い、第70回国際大会がノルウェー・スタヴァンゲルにて開催されました。
参加者数は以下のとおりです。

東日本区	57名(内ユース7名)
西日本区	54名(内ユース8名)
ノルウェー	181名(内ユース3名)
海外	448名(内ユース78名)
合計	740名(内ユース96名)

大会は初日午後2時から開会式で始まり、世界YMCA同盟総主事による“The future is now”(未来はこの手に)と題した基調講演が行われた。夜はIPIPナイトで国際交流の夕べが催された。2日目は西村国際書記長による報告、各部門毎の分科会が行われ、夜は7～8人のグループに分かれ地元ワイズメン宅でのホームディナーを楽しんだ。3日目は前日の分科会の報告に続き、エリア会議が行われた。夜の晩餐会会場はバスで1時間の所にある山間のマウンテンホールで、IPナイト(テーマは、ノルウェー民族文化フェスティバル)が行われた。最終日はIYC報告、次回インドでの国際大会紹介に続き閉会式が行われ再会を約して閉幕した。大会の様子(写真、ビデオ、大会ブリテン)は大会ウェブサイト<http://www.ic2012.org/>で見ることができます。

<アジア議会報告 ADF・NDERF>

ノルウェーでの国際大会3日目に行われたアジア議会にて ADF(Area Development Fund)と NDERF(自然災害緊急支援基金)に関して、次の事が討議、確認された。

1. 韓国の独立に伴いファンド総額 62,000ドルを韓国と折半し、アジアとして 31,000ドルを受取りエリア銀行口座に保管されている。
2. 今後の管理、運用については、AP,IPAP,APE 及

び各区1名の委員で構成されるコミッティにて諮られることになった。

3. NDERF(自然災害緊急支援基金)を一人当たりUS1ドル値上げして、US2ドルとすることが承認された。

<債権回収チームスタート>

不祥事に係る債権問題処理のため、新メンバーにより8月24日にスタートしました。

*メンバー:リーダー寺門文雄(東京世田谷)須藤 繁(富士五湖)久保田貞視(東京八王子)と理事、書記、会計の6名。

今後の進め方、抵当資産価値等調査します。

<部会シーズン開幕>

国際大会に続いては、各部部会のシーズンのスタートです。

北海道部部会:8/25 北東部部会:9/1
関東東部部会:9/29 湘南・沖縄部部会:10/6
東新部部会:10/13 あずさ部部会:10/20
富士山部部会:10/28

各部長さん、または部会実行委員長さんは開始時刻、登録費、申込先等の詳細を東日本区カレンダーに入力してください。

<省エネ生活アンケート>

CS 事業の環境問題への取り組みアンケートにご協力ください。先月配布のアンケートをクラブメンバー全員に渡すようコピーし例会で記入していただきその場で回収とりまとめの上、クラブ会長から部長へ、部長から地域奉仕事業主任小山久恵(東京サンライズ)までメールかファックスで9月30日までにお送りください。

<国際憲法改正の国際投票>

国際憲法改正の国際投票、9月28日までですが、投票はお済みでしょうか?東日本区 65 クラブ 100%投票を目指しております。重要な投票です。まだのクラブは至急投票ください!

<ロースター訂正>

緑色ページの東日本区役員・東日本区部役員の一部に誤りがありました。ご訂正ください。

P12 北海道部部長 柴田伸俊:住所訂正

(正)P65 に記載の住所

監事&健全化委員会吉田明弘:住所訂正

(正)P134 に記載の住所

P16 あずさ部事業主査訂正

(正)会員増強: 鶴田一郎

(正)広報: 菰渕光彦

上記以外に訂正がありましたら、東日本区書記および東日本区事務所へご連絡ください。